

令和元年9月30日

第521号

横浜市立日吉台小学校

校長 玉置 恭美

教育目標

みずから生きる

ともに生きる

日吉台の子

# ひよしだい



## 秋を楽しむ

副校長 栗原 信一

残暑の厳しい日々が続いた9月も終わり、秋の深まりを感じる日々となりました。フル稼働していたミストや冷房もほとんど使用することなく、秋の心地よい風が校庭、教室を吹き抜けています。やはり、自然の風はとても気持ちの良いものです。さて、9月も多くの行事がありました。中でも6年生は小学校生活のメインイベントともいえる日光修学旅行へ出かけてきました。二日とも好天に恵まれ、涼しい気候の中、全行程を楽しむことができました。一泊二日の日光での思い出は、きっと何にも代えがたい宝物になることと思います。今、6年生の教室前には、日光で作ったふくべ細工が風に揺られながら子どもたちをやさしく見守っています。

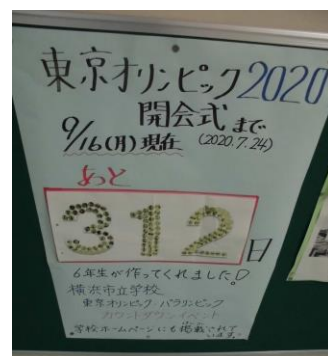
秋といえば、「読書の秋」「スポーツの秋」、そして「食欲の秋」など、何をするにもよい季節です。そんな秋にちなんだ取組がいくつかありましたので紹介します。

一つ目は、9月20日にラグビーワールドカップ2019（日本大会）の開幕にあたっての取組です。今回、そんなラグビーワールドカップを盛り上げていこうと日本が開幕戦で対戦したロシアの郷土料理が給食に登場しました。ビーフストロガノフ（シチュー）マッシュポテト、カブスカ（キャベツの漬物）などです。開幕戦の一日前に美味しくいただきました。また、この日は、お昼の放送でロシアの作曲家、チャイコフスキーの曲を流すなどの工夫もありました。児童にとってロシアや世界とのつながりを感じることができたひと時だったように思います。ワールドカップ観戦も楽しみになりました！

二つ目は、来年開催される東京オリンピック・パラリンピック2020に向けての取組です。9月にはマラソンのオリンピック代表を決めるMGCも開催されたことは記憶に新しいところですが、オリンピックが日に日に近づいていることを感じます。現在、横浜市立学校では、カウントダウンリレーと題して一日一つの学校がカウントダウンを担当しています。日吉台小学校は、9月16日を担当しました。この日は、東京オリンピックの開会式（2020/7/24）まであと『312日』という日でした。本校の6年生が金メダルに模したシールに一人ひとり名前を書き数字を完成させました。本校学校ホームページにも掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

『自ら学び、社会とつながり ともに未来を創る人』

これは、10年後を見据えた「横浜教育ビジョン2030」に謳われている横浜市が目指す子ども像です。子どもたちは様々なつながりの中で未来を生きていきます。今回の取組も子どもたちにとって、世界や社会とつながる一つのきっかけとなったのではないのでしょうか。また、子どもたちは、学校、地域、家庭の温かなつながりの中で育まれていきます。今後とも皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



▲カウントダウン312日！